

工事標示板及び迂回路の施設

1. 工事名標示板

河川工事等で工事区間の起終点付近の見易い箇所に設置する。

2. まわり道の標示

まわり道の入口に(1)のまわり道標示板を設置し、まわり道の途中の各交差点においては、参考(1)、(2)に示す要領により、補助板(2)等を設置するものとする。

3. 防止柵等

危険、立入禁止のため柵を設ける場合は、当該箇所にバリケード等適当な設備を行ない、必要な標識類を設置する。

(保安施設設置基準(案)を参考とする)

工事標示板および迂回路の施設

1. 工 事 標 示 板

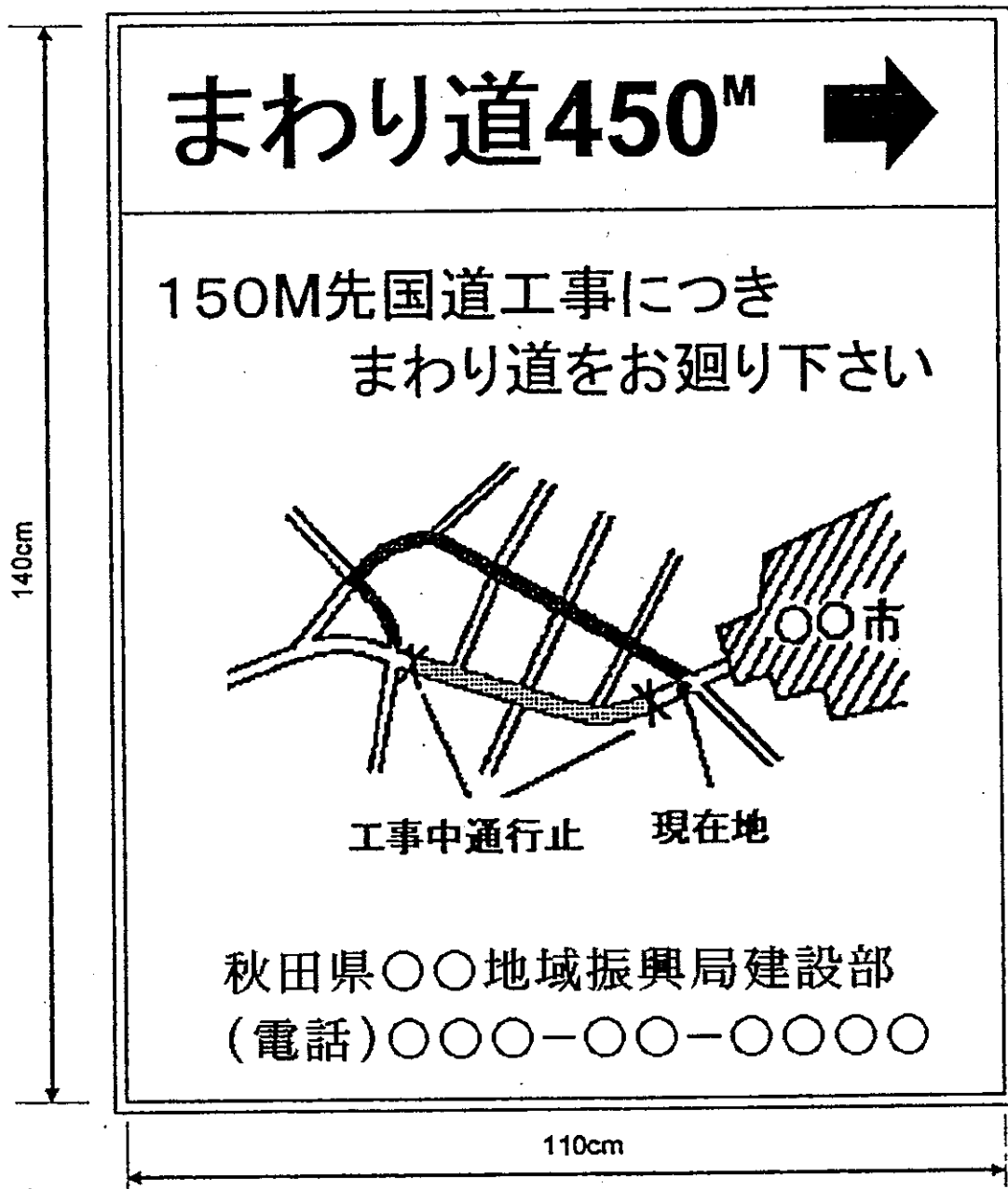
(1) 工事名標示板(記載例)



- (1)「ご迷惑をおかけします」「〇〇〇〇工事」は、青地に白抜き文字とし、必要に応じ反射装置を施したものとする。
- (2)「〇〇〇〇を行っています」等の工事内容、工事期間については青色文字その他の文字および線は黒色、地を白色とする。
- (3)縁線の余白は2cm、縁線の太さは1cmで黒色とする。
- (4)河川、その他工事の場合は、当該工事名を記入するものとする。
- (5)工事期間等に変更があった場合は、直ちに修正するものとする。
- (6)文字サイズ、レイアウトは記載内容に応じて調整するものとする。

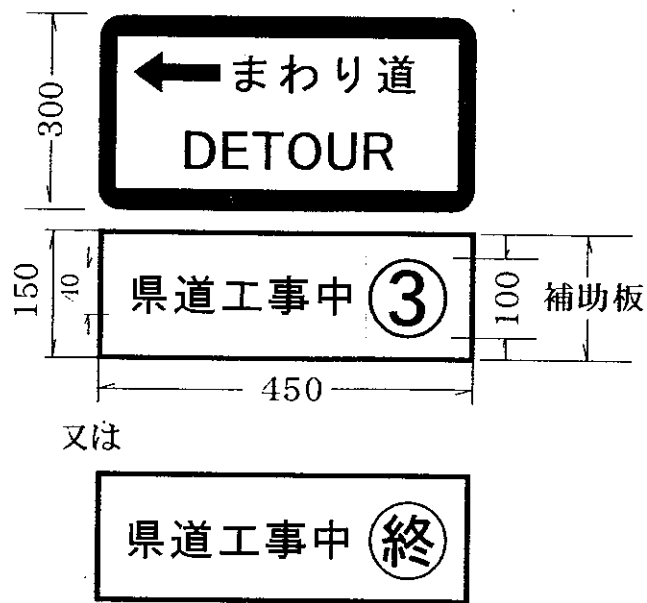
2. 迂 回 道 の 標 示

(1) まわり道標示板



- 注. 1. 色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地を白色とする。
2. 緑の余白は2cm、縁線の太さは1cmとする。
3. 必要に応じて「まわり道450M→」又は→の文字もしくは記号に反射装置を施すものとする。

(2) 補助板



注. 補助板の色は、矢印を赤色、文字は青色、地を白色とする。

図 1

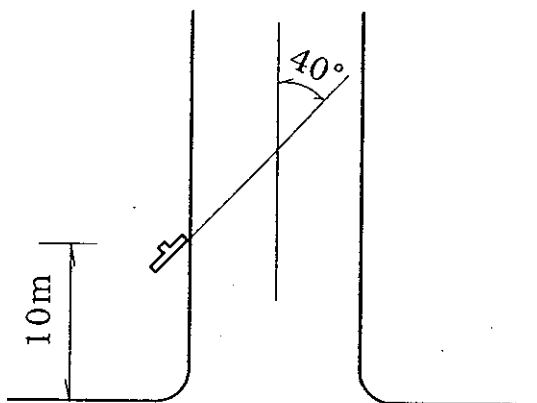
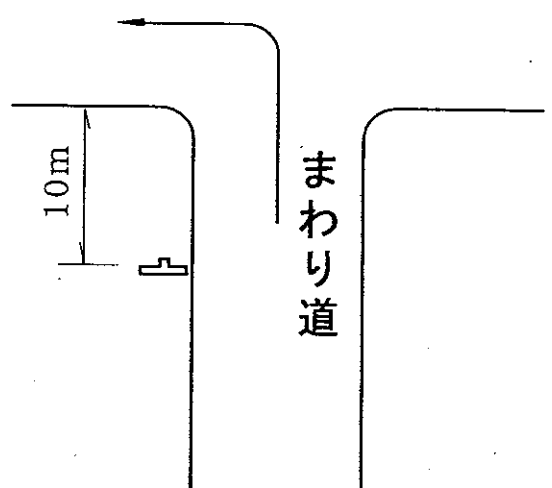
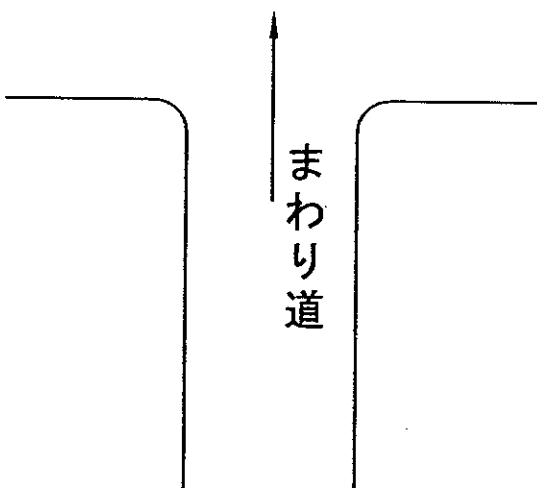
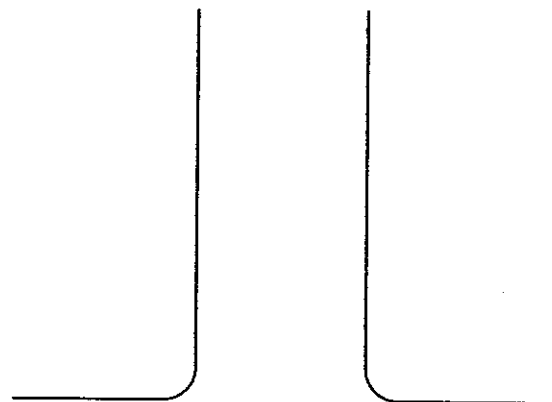
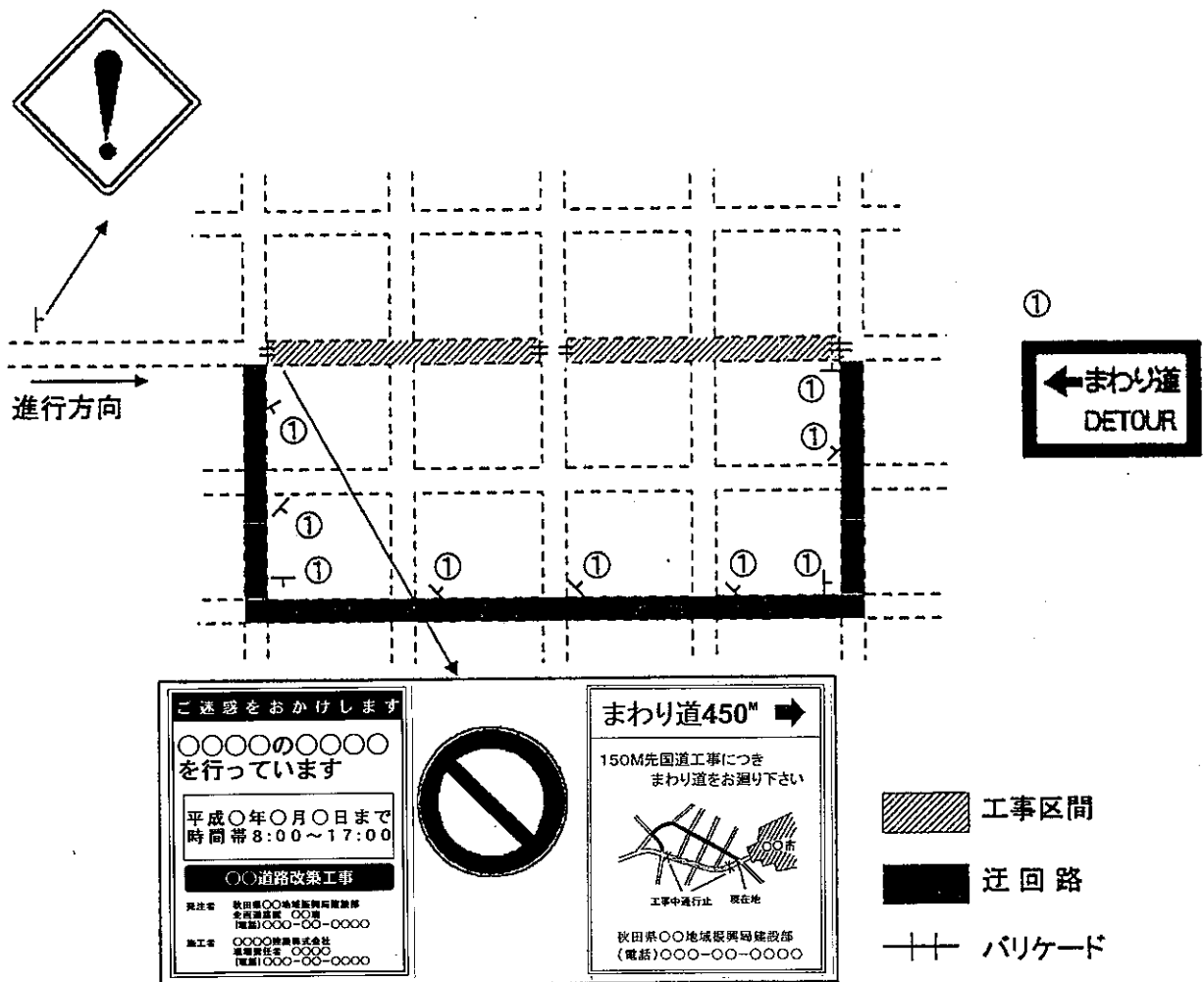


図 2



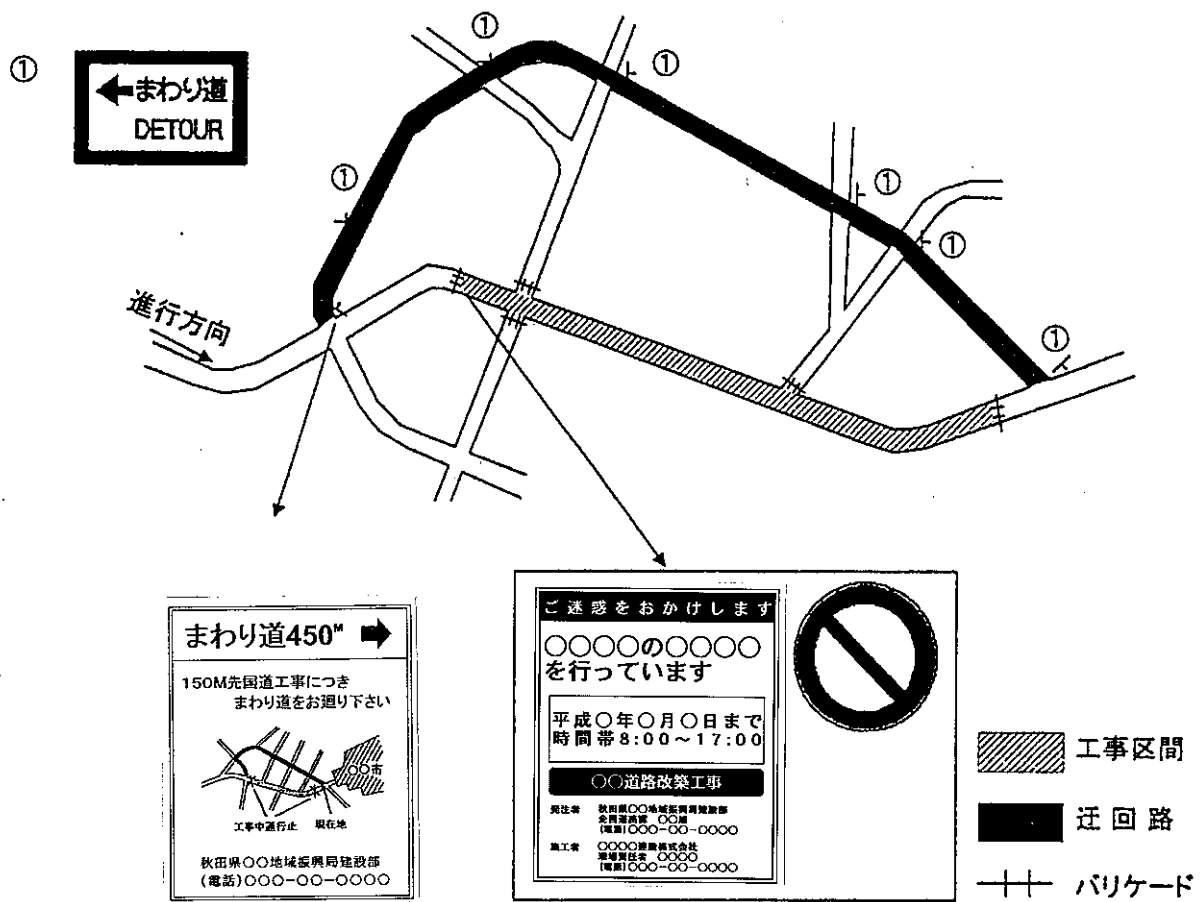
参考(1)工事中迂回路の標示例(市街部の場合)

(進行方向に対する標識の設置例を示す)



参考(2) 工事中迂回路の標示例(地方部の場合)

(進行方向に対する標識の設置例を示す)



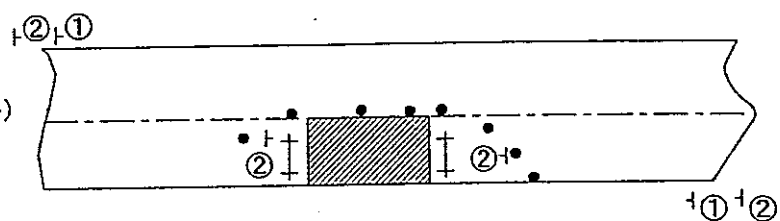
① 必要あれば設置する



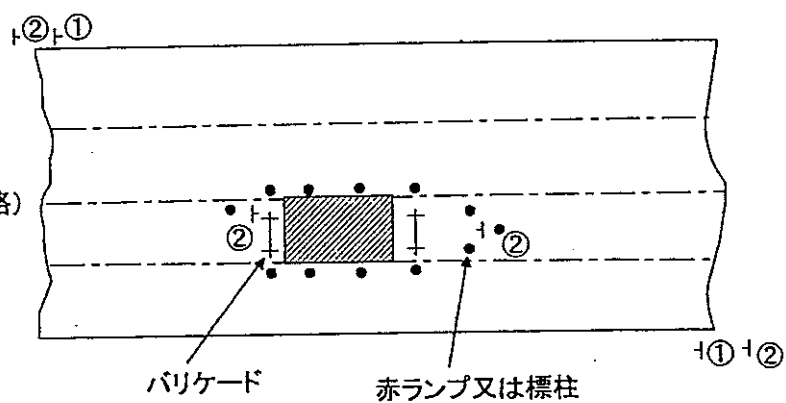
②



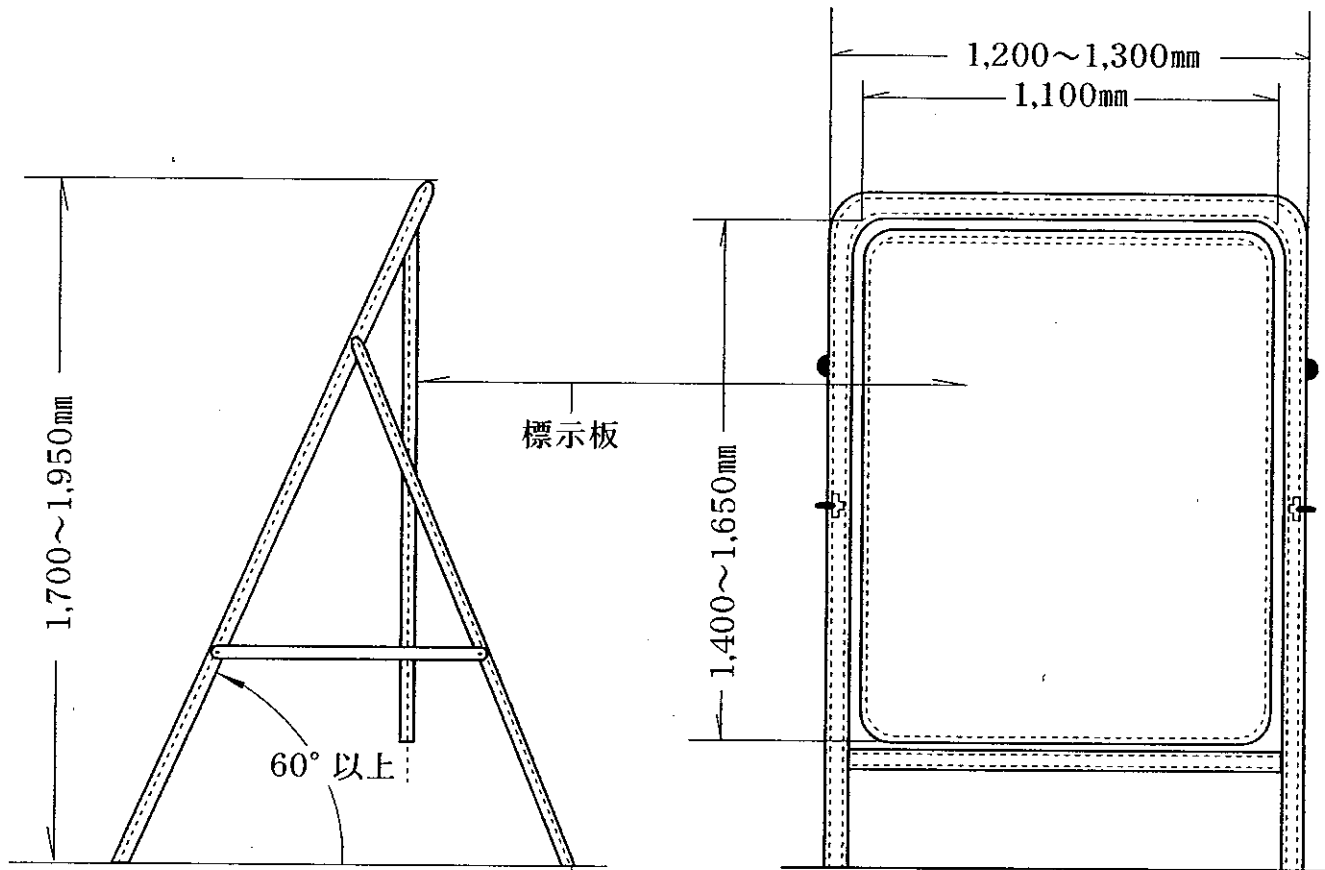
(2車線道路)



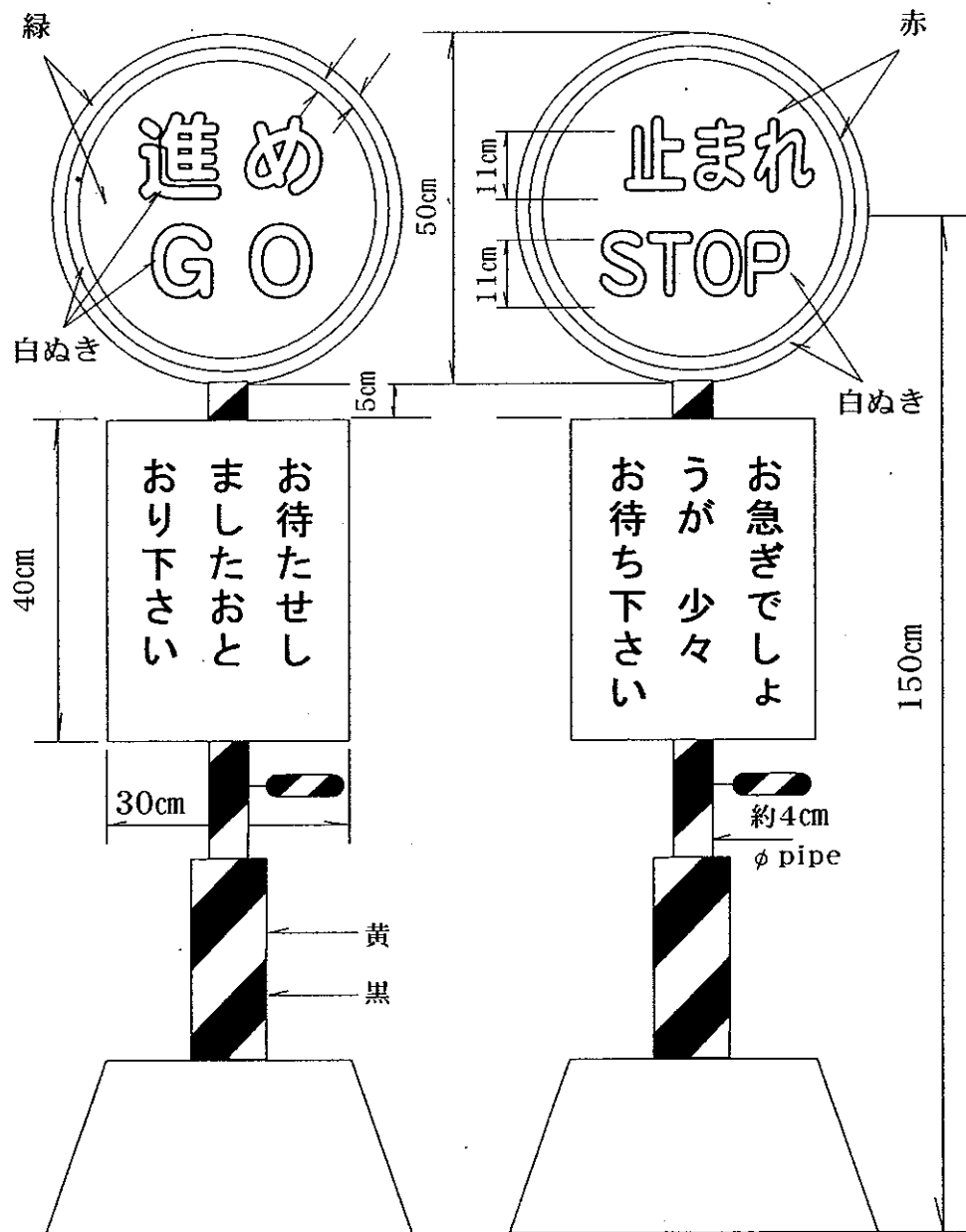
(4車線道路)



参考(3)設置方法の例



交通誘導用手動式信号機



防 止 柵 図1 (一般用その1)

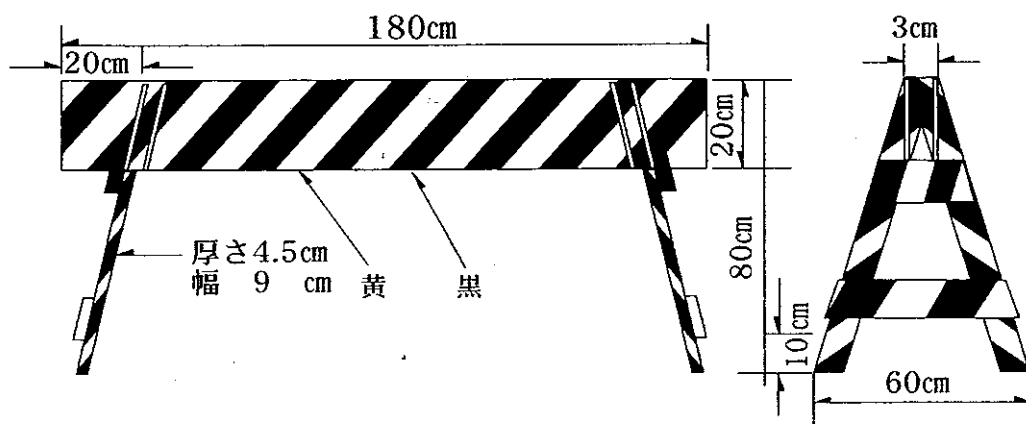


図2 (一般用その2)

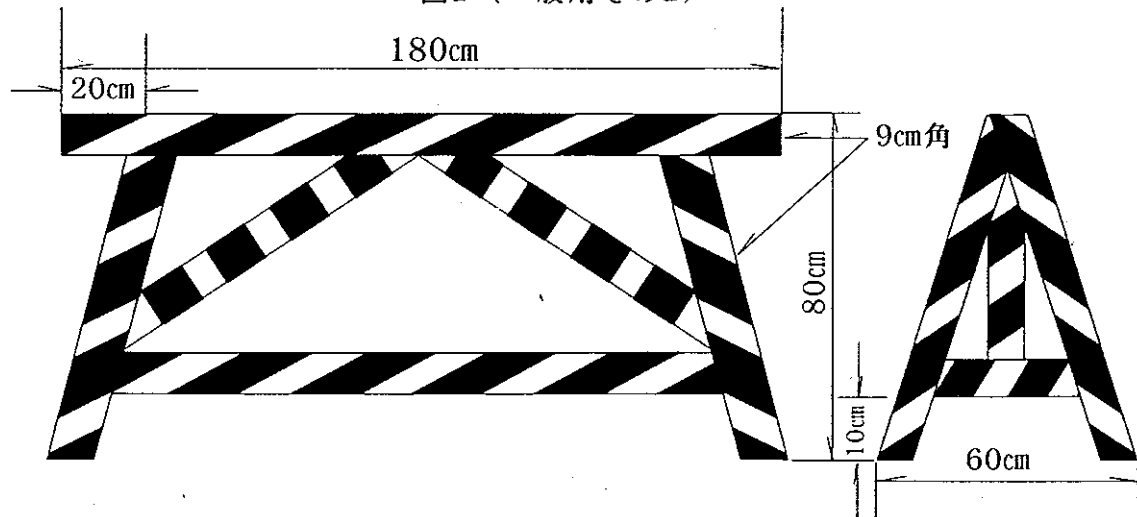


図3 (一般用その3)

